

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

### 『ウィズコロナの第2学期』を終えて ～ 第2学期 終業式・17日間の冬休み ～

本日、第2学期が終了しました。「実りの秋」という言葉のとおり、生徒一人一人が、日々の授業やさまざまな学校行事、部活動、学級・生徒会活動等を通じて、心身ともに大きく成長した第2学期だったと思います。

明日から冬休みに入ります。冬休みは、地域の文化や伝統行事に触れたり、家族の一員としての役割を果たしたりする絶好の機会です。生徒の皆さんが、「自主」・「自立」・「自律」の三つの力を動かせ、有意義な冬休みを過ごしてくれることを期待しています。また、現在、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが猛威をふるっています。冬休み中も「基本的な感染防止対策の徹底」を継続してほしいと思います。

保護者・地域の皆様には、今学期も本校の教育活動にご理解とご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひ致します。よいお年をお迎えください。

### 平戸市の代表として出場しました！ ～ 第2回 長崎県中学生ビブリオバトル大会 ～

12月3日(土)、大村市の「ミライ on 図書館(県立図書館)」で、第2回長崎県中学生ビブリオバトル大会が開催されました。ビブリオバトルとは、発表者(バトラー)が自分のお気に入りの本の魅力などを紹介し、会場の参観者が一番読みたくなった本を選ぶ書評合戦です。今回、3年生の神田杏樹さんが、平戸市代表として本校から初めて出場し、『かがみの孤城』という本の紹介をしてくださいました。当日は、多くの参観者の前に、自分の好きな本の魅力を堂々と発表しました。上位入賞とはなりませんでしたが、「奨励賞」を受賞しました。神田さん、お疲れ様でした。そして、おめでとう！



### 『No one left behind(誰ひとり取り残さない)』 ～ 令和4年度 人権学習・人権集会 ～

12月9日(金)、『人権』について知る・考えるをテーマとした今年度の人権学習の取組のまとめとして、人権集会が開催されました。集会へ向けた事前学習では、人権集会実行委員長の鴨川拓虎くんをはじめ実行委員の皆さんが、『その見方は、人を傷つけていない?』と題して、「偏見」についての学習会を行いました。

集会では、1年生は「障がい者差別解消法・合理的配慮」、2年生は「性について～LGBTQ～」、3年生は「ハンセン病への偏見や差別について」、学年ごとに発表がありました。また、集会の最後には、実行委員会で作成した『生月中学校 人権宣言』が、全校生徒の賛同を得て採択されました。

【令和4年度『生月中学校 人権宣言』から】

- 一、誰もが「弱い」立場の者に寄り添う集団を作ります。
- 一、うわさや不確かなことで決めつける見方(偏見)をしません。
- 一、それぞれの違いを認め、相手の立場に立って考え、いじめ・差別のない学校を作ります。



### 『自分らしく輝く人生を』 ～ 令和4年度 性教育講演会が開催されました ～

12月16日(金)、3年生を対象に、今年度の性教育講演会が開催されました。当日は、市役所子ども未来課の保健師さんと助産師さんを講師にお迎えし、『自分らしく輝く人生を』と題して講話をいただき、性感染症の種類や身体に及ぼす悪影響、「デートDV」などについて学習しました。また、体験学習として、助産師さんの指導の下、赤ちゃん人形を用いてのおむつ交換や抱っこ体験、妊婦ジャケットを用いての妊婦体験もありました。

生徒の皆さんが、今回の学習を通して、「自分らしく輝く人生を」送ってくれることを願っています。

(※講演会の詳しい内容については、昨日配布した『ほげんだより 12月 特別号』をご覧ください。)

